

エクストリームウィンターチャレンジ信州高山大会 2025

■優勝チーム コメント

『スパモニ探検隊の墨君』

鈴木篤さん

ウィンターチャレンジは昔から大好きで、長男、そして次男と参加してきました。

エクストレモさんがホームページで参加チームの写真を残してくれているので、子どもたちの成長が分かって楽しいです。

そして、この度の5年ぶりの開催に合わせるかのように、久しぶりに次男が「レースに出たい」と言ってきたため、迷いなくウィンターチャレンジを選びました。

次男がちょうどスキーを再開した時でもあったので、前日入りして大会会場の山田牧場が誇る林間コースであるタコチコースを滑ることも出来ました。

スキーを楽しんで、お寿司とラーメン（都心には少ない山岡家）を梯子して車中泊で過ごしてと息子との久しぶりの旅行にもなりました。

肝心のレースは、いつものアットホームな温かい雰囲気、参加者の皆さんもホクホクした人たちがばかりなので出走時間が迫るのを忘れて歓談していました。

いつもの本格的なドイツ軍装備に身を固めたTACさんたちや、本物の冬季レンジャー（積雪地で遊撃戦を展開できる特殊なスキルを持った精鋭自衛官）であった藤井さん、まだ小さなお子さんとの親子チームなど多彩でした。

最初の課題のfrisbeeのラッセルダッシュ？ではまさに犬になった気持ちでしたが、とても速い人がいて驚いているとそれが息子だったのが親として嬉しかったです。そんな息子のお陰ですぐにリフトに乗れて、後は雪の中を走ることを満喫できました。

ご参考までに私たちの装備などをお伝えさせて頂くと、ウェアはすぐに暑くなるので冬山用アンダーウェアに薄手のミドルウェア、下はタイツのみで（いずれもモンベルやファイントラック社のものが比較的安価で間違いがないです）、そこにゴアの雨着上下、一応リュックに防寒着と予備の手袋を持つという感じでした。

また、足元はスノーシューで息子がモンベル、私が MSR の EVO、靴は息子が軽登山靴で私がコンバットシューズ（革製の編み上げ靴）としました。雪が入らないようにロングスパッツは欠かせません。

サングラスは走ると体温と吐息で曇ってしまいがちなので着用しませんでした。2 人ともゴール後に少し雪目の症状があったので、しっかりと曇り止めの処置をしたサングラスを着用した方が良さそうです。

レースに必要な読図のスキルは競技オリエンテーリングをやると手っ取り早く学べます。マイナーながらも各地で頻繁に開催されているオリエンテーリングの大会に出ると無料の読図講習なども受けられて、お勧めです。

最後になりましたが、大会を開催して下さったエクストレモの皆さん、ありがとうございました。

参加された皆さんともまたお会いできるのを楽しみにしております。

鈴木壘さん

今回が 6 年ぶり 3 度目のレース参加でした。

父と 2 人で遠出をしたり、同じ目標に向かって頑張ることは普段なかなかないのでとても良い経験になりました。

レースを開催して下さったエクストレモさんに感謝の気持ちでいっぱいです。

来年のレースも楽しみです。